

18日、出前講座「かしこい消費者になろう!」を開催しました。日々の暮らしの中で起こりがちな消費トラブルについて、基本的な心構えを学ぶ講座です。

お金やキャッシュカードの上手な使い方から、身近に潜む消費者トラブルの実例、そして環境や人、地域にやさしい「エシカル消費」についてまで、幅広くお話いただきました。

トラブルは、思いがけないタイミングでやってくるもの。「まさか自分が」と思っている、誰にでも起こりうることです。もし困ったことがあれば、一人で抱え込まず、消費者ホットライン「188(いやや!)」へご相談ください。ちょっとした心構えが、安心な暮らしにつながります。



◎次回の出前講座「蔵持井戸端会議」は8月13日(木)13:30～お気軽にご参加ください。

授業 蔵小2年生、まちなか探検で市民センターを訪問!

蔵持小学校



6月25日、蔵持小学校2年生27名が蔵持市民センターにやってきました。2つのグループに分かれ、屋内と屋外を交互に探検です。

屋外では、センター長から「蔵清水の井戸」や「まもくら工房」が災害時に果たす役割について児童たちに説明をしました。実際に井戸水を手押しポンプで汲んだり、水道に繋がっている井戸水を汲んでみたりして井戸水を飲み、「おいしい!」とおかわりする姿も。

屋内では、事務所や和室、倉庫まで自由に探検。見つけたものをノートに書き込んだり、防犯カメラの前でじっと動かなくなったりする子もいました。

ちょうど開催されていた「くらっこ広場」にも参加し、児童たちより小さな子と触れ合ったあとは、願い事を書いた短冊を七夕飾りに結びつけました。新しい発見にあふれた探検になったようです。

地域 みんなのアイデアから生まれて実現した街歩き

ちいちかけん

5月14日、市民センターで開いた「なんでもしゃべり会」。そこで出たのが、こんな一言でした。「名張のあちこちにある、なんでこんなものがあるんだろう? みたいなものを、みんなで見つけながら街歩きしたい」。

その声を聞いて、さっそく動いてくれたのが「ちいちかけん」の皆さんです。6月6日、旧町界隈で街歩きプチイベント『なんでこれ残ってるんやろ?』を実現させてくれました。

あちこちに謎に家の前に置かれているの石や、不思議な残り方をしている家、どこにも繋がっていない階段…。「なんだこれ?」を探しながら歩くと、宝物を見つけたような歓声が上がる、楽しいひとときでした。

普段何気なく通り過ぎていた風景にも、目を向けてみると発見がある。そして、地域の人々の声が、こうして形になっていく。そんなことを教えてくれた街歩きでした。ふと思ったこと、やってみたいこと、ぜひ気軽に聞かせてください。もしかすると実現するかも知れませんよ?

